

秋田県「社長年齢」分析調査（2023 年）

社長の平均年齢、62.5 歳

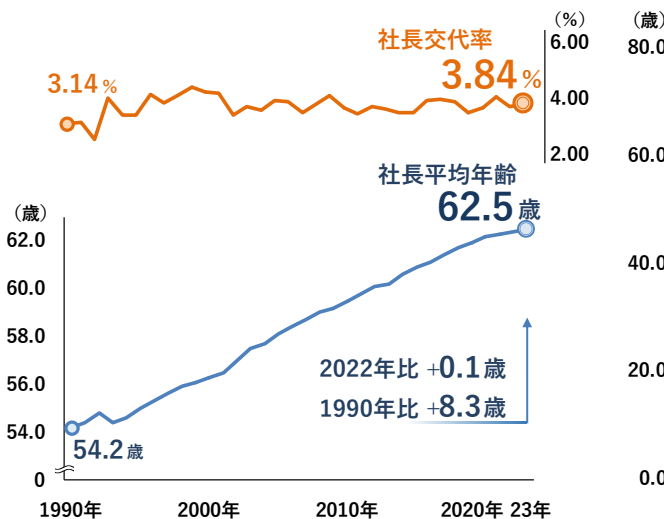
6 年連続、全国で最も高い

～連続の上昇、高齢化止まらず～

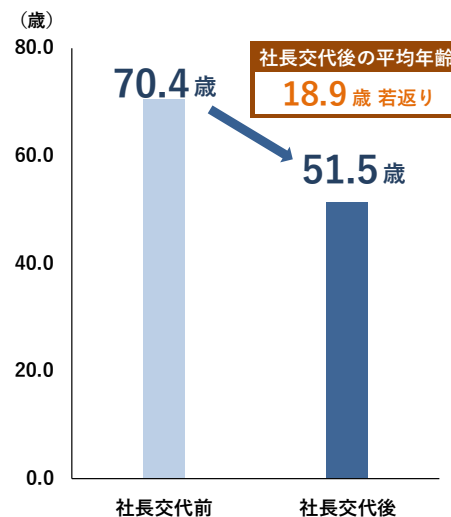
「団塊の世代」の多くが後期高齢者に達し、事業承継の課題が一層深刻になるといわれている「2025 年問題」まで、残すところ 1 年を切った。

帝国データバンクが実施した調査では、2023 年における秋田県の後継者不在率は 70.0%と全国で 2 番目に高いという結果となった。円滑な事業承継には中長期的な準備期間が必要であるが、足元では社長の高齢化には歯止めがかからない状態が続いており、バトンタッチが間に合わず事業継続に影響を及ぼすケースが増加する可能性がある。そこで帝国データバンク秋田支店では、秋田県の「社長年齢」について調査・分析を実施した。

社長平均年齢/社長交代率の推移



社長交代前後の平均年齢変化



調査結果（要旨）

- 2023 年時点の社長の平均年齢は 62.5 歳。前年を 0.1 歳上回り、30 年連続の上昇で過去最高を更新
社長が交代した割合は 3.84%、前年からほぼ横ばい
- 「50 歳以上」の社長は 8 割超、「40 歳未満」の若手経営者は 2.2%にとどまる
- 都道府県別、トップは秋田県の 62.5 歳、最も低いのは三重県の 59.4 歳

■ 本調査では、企業概要ファイル「COSMOS2」（約 147 万社収録）から 2023 年 12 月時点における企業の社長データ（個人、非営利、公益法人等除く）を抽出し、集計・分析した

止まらぬ社長の高齢化、62.5 歳と過去最高 社長交代率も未だ低水準

秋田県の社長平均年齢は、1994 年から毎年上昇し続けている。今回の調査でも同様の傾向となり、2023 年は前年比 0.1 歳上昇の 62.5 歳となった。加えて、2023 年における前年からの社長交代率は 3.84% となり、前回調査（3.76%）からわずかに上昇したものの、総じて、社長の世代交代に関して活発な様子は見られず、社長の高齢化はさらに進行しているといえよう。

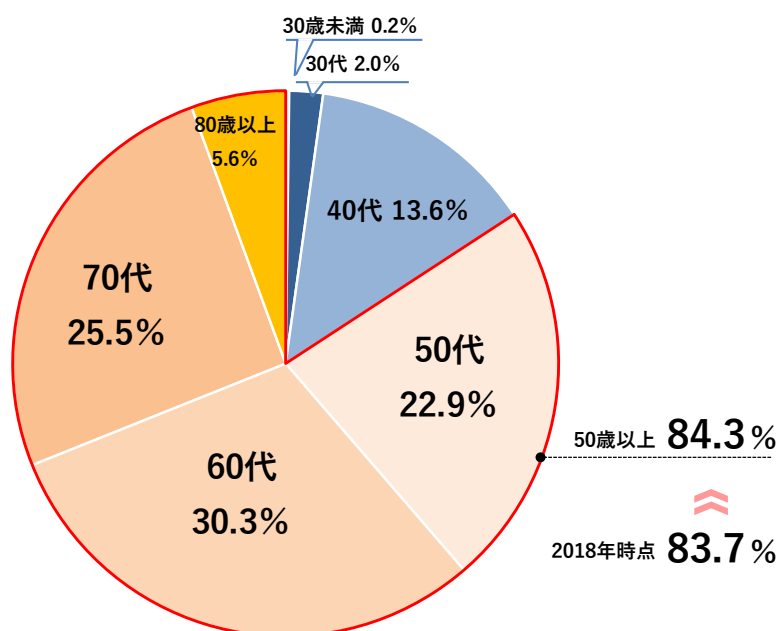
社長が交代する際の年齢は平均で 70.4 歳となり、前回調査（71.3 歳）から 0.9 歳早くなった。高齢ながら社長として経営を続けることにはリスクがともなうなかで、70 歳以上で後継者にバトンタッチをしている結果となった。そして、社長交代後に就任する新社長の平均年齢は 51.5 歳となり、18.9 歳の若返りがみられた。

<年代別構成比> 「50 歳以上」の社長は 84.3%と高水準、若手経営者はわずかにとどまる

2023 年時点における社長の年代別構成比をみると、「50 歳以上」が前回調査（83.6%）より 0.7 ポイント上昇し 84.3% となった。そのうち 70 歳以上は 31.1% となり、前回調査（30.4%）より 0.7 ポイント上昇した。

一方、「40 歳未満」はわずか 2.2% に過ぎず、若手社長の割合は依然として低い水準にとどまっている。

社長の年代別構成比



年	平均年齢	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
2018	61.7歳	0.1	2.6	13.7	22.0	37.6	19.7	4.4
2023	62.5歳	0.2	2.0	13.6	22.9	30.3	25.5	5.6

(単位：%)

＜業種別＞「不動産」が 66.2 歳と高水準

社長平均年齢を業種別でみると、「不動産」が 66.2 歳で最も高く、80 歳以上の割合は 12.9%と前回調査（11.4%）より 1.5 ポイント上昇した。

次いで「卸売」が 63.4 歳、「運輸・通信」が 62.9 歳となり、全体の平均（62.5 歳）を上回った。

業種別 社長平均年齢・年代別構成比

業種	(歳)								(%)
	平均年齢	30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
建設	62.1	0.1	1.6	14.6	23.9	30.6	24.9	4.4	100.0
製造	62.2	0.3	1.3	12.4	24.8	33.0	24.0	4.1	100.0
卸売	63.4	0.1	1.7	10.1	23.4	32.2	26.3	6.2	100.0
小売	62.5	0.3	2.0	15.7	21.7	27.9	24.4	8.1	100.0
運輸・通信	62.9	0.0	3.2	12.7	21.5	28.7	29.5	4.4	100.0
サービス	62.1	0.3	2.7	14.1	22.7	29.8	25.4	4.9	100.0
不動産	66.2	0.0	1.7	9.5	17.8	26.9	31.2	12.9	100.0
その他	61.3	0.8	4.5	15.0	19.9	29.7	26.3	3.8	100.0
全体	62.5	0.2	2.0	13.6	22.9	30.3	25.5	5.6	100.0

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため合計は必ずしも100とはならない、網掛けは全体平均を上回る数値

＜都道府県別＞ 都道府県別では「東高西低」、本県が 6 年連続トップ

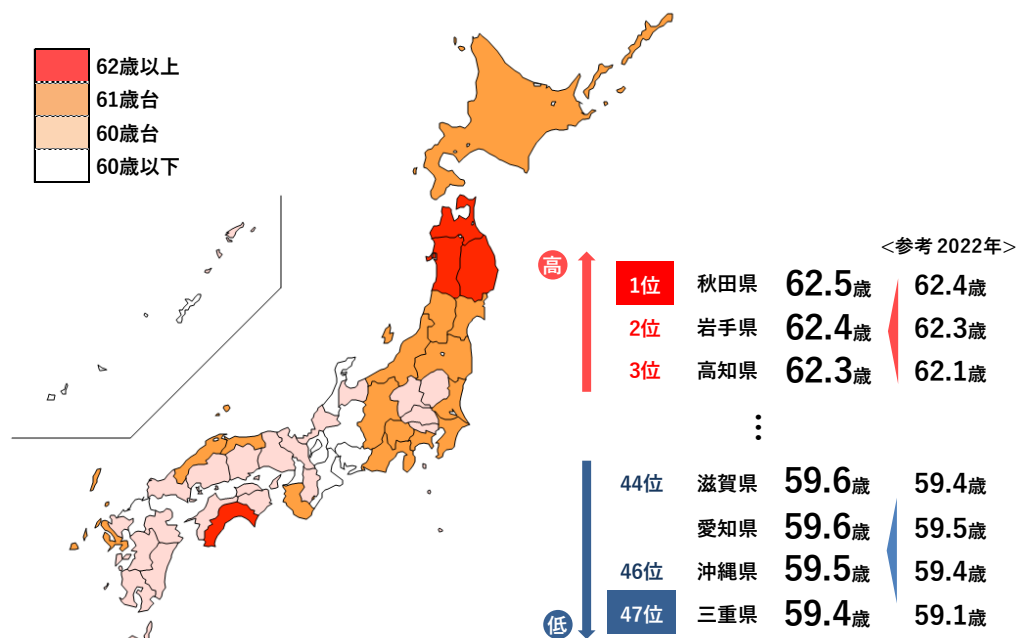
社長平均年齢を都道府県別でみると、秋田県が 62.5 歳（2022 年比+0.1 歳）で最も高かった。1990 年から 8.3 歳上昇しており、6 年連続のトップとなった。また、次いで岩手県（62.4 歳、同+0.1 歳）、高知県（62.3 歳、同+0.2 歳）が続いた。なかでも、東北地方は 6 県すべてで全体平均（60.5 歳）を上回った。また、前年からの上昇幅としては和歌山県（61.3 歳、同+0.4 歳）が最も高かった。

他方、平均年齢が最も低かったのは三重県で、59.4 歳。三重県は 2023 年時点の後継者不在率が 30.2%*と全国で最も低い点も含め、円滑な事業承継の結果が表れているといえよう。一方で、前年から 0.3 歳上昇しており 60 歳超えも視野に入ってきた。

なお、47 都道府県のなかで社長平均年齢が前年から低下した地域はみられず、鳥取県（61.0 歳）、香川県（60.3 歳）、佐賀県（60.5 歳）、大分県（60.4 歳）の 4 県のみ同横ばいだった。

* 帝国データバンク『全国「後継者不在率」動向調査(2023 年)』2023 年 11 月 21 日発表

都道府県別 社長平均年齢



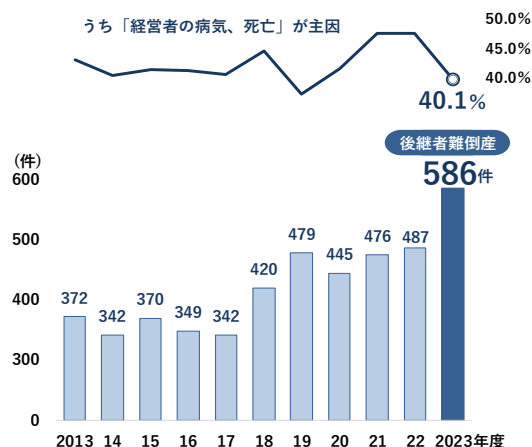
今後の見通し：既に全国の後継者難倒産は過去最高水準、社長の「高齢リスク」噴出が懸念

社長の平均年齢は上昇傾向が続き、過去最高を更新した。2023 年の社長交代では 18.9 歳の若返りがみられたものの、交代率は 3.84% と低位にとどまっている。このまま社長交代率が改善しなければ、さらに社長平均年齢は上昇しそうだ。

こうした結果を踏まえ、社長の「高齢リスク」にはさらなる警戒が必要だ。実際に、2023 年度の後継者難倒産は全国で 586 件となり過去最高を大幅に更新し、そのうち約 4 割は「経営者の病気、死亡」が原因であった。

社長の高齢化が進めば、不測の事態が生じる可能性は自ずと高まる。円滑な事業承継を確実に進めていくためには、計画的かつ余裕のある準備が必要となろう。

全国の後継者難倒産 件数推移



【問い合わせ先】

株式会社 帝国データバンク 秋田支店 担当：西 幸一郎

TEL：018-833-4202

FAX：018-835-6823

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。